

最近の地域経済における懸念材料及びこれに対する 地域の特徴的な取り組み

1. 最近の地域経済における懸念材料(生の声)
2. 長期的指標から見た近畿経済の現状
3. 地域の特徴的な取り組み
 - (1) 大阪湾周辺の大規模投資と波及効果
 - (2) バイオメディカルクラスター構想
 - (3) 中小企業の活性化
 - (4) 外国人観光需要の取り込み

平成20年11月4日
近 畿 財 務 局

1. 最近の地域経済における懸念材料(生の声)

資金繰り、金融機関の融資態度(中堅・中小企業)

従前と比べて、金融機関は融資先を厳しく選別しており、融資態度も特に中小企業に対しては厳しい。

【不動産】

金融機関の融資態度に変化はないが、今後、金融機関の経営環境の悪化から融資態度が厳しくなるのではないか。

【建設】

収益環境の悪化から資金繰りは苦しい状況が続き、金融機関の融資態度も審査の際に要求される資料の数が増えるなど厳しくなっている。

【食料品】

受注減に伴う売上の減少に加え、自社工場の維持費も大きく、資金繰りが苦しくなっている。

【一般機械】

世界経済の減速と金融危機の影響

米国発の金融不安が欧州経済へも飛び火して事業環境は悪化傾向にあり、更には、中国をはじめとするアジア地域の需要(建築資材用樹脂)も鈍化してきている。

【化学】

現時点で大きな影響は受けていないが、今後、年末にかけて欧米のみならず新興国でも内需の落ち込みが予想され、かなりの影響が出るものと思われる。

【電気機械】

金融危機に影響されることなく必要な設備投資は行っていくが、より一層慎重に費用対効果を検討する必要がある。

【一般機械】

金融資産価値の下落により消費者の住宅購入マインドが低下するなど、その影響が大きくなっている。

【建設】

原油・原材料価格の変動

足もとでは原油価格は下がったものの依然として高水準にあり、製品価格への転嫁も不十分であるため、再値上げを検討している。

【その他製造業】

これまでは原材料価格の高騰をある程度転嫁できたが、消費マインドが冷え始めている現状では、これ以上の転嫁は容易ではない。

【宿泊】

少子・高齢化と労働力の確保

技能者の定年退職により熟練労働力不足が懸念されるため、教育システムの再構築など、従業員の能力底上げを行う。

【窯業・土石】

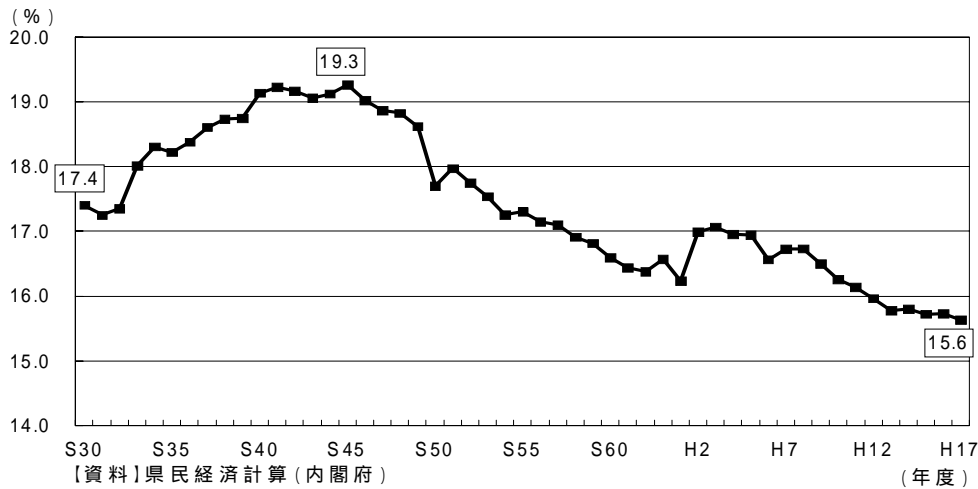
少子高齢化による就労人口の減少で人材の確保が困難になるため、質量兼備の定期採用の実施や再雇用制度の活用を強化していく。

【電気機械】

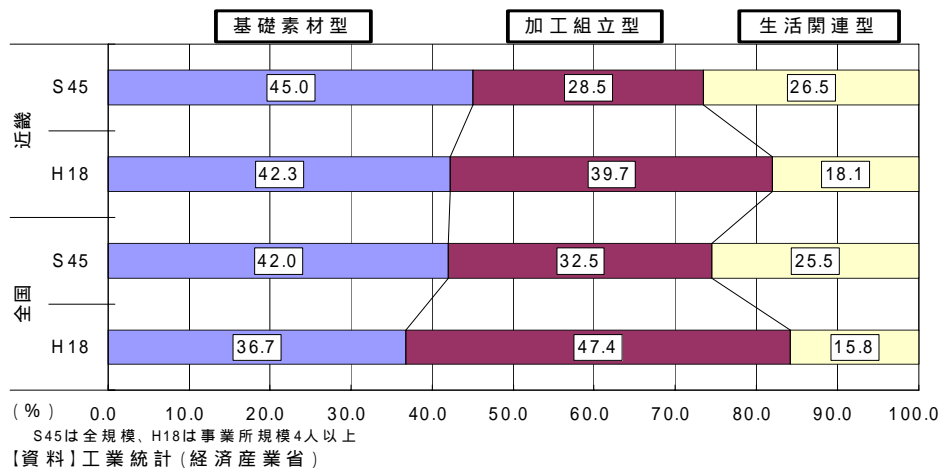
2. 長期的指標から見た近畿経済の現状

近畿経済は、大阪万博(昭和45年)前後を境に相対的地位の低下が続いている。要因として、基礎素材型から加工組立型への転換の遅れ、流通形態の変化に伴う卸売業の衰退、本社機能の東京移転、地方圏からの転入減などが挙げられる。しかし、大阪湾周辺の大規模投資に加え、先端医療、モノづくり、観光など将来に向けた明るい話題が芽生えている。

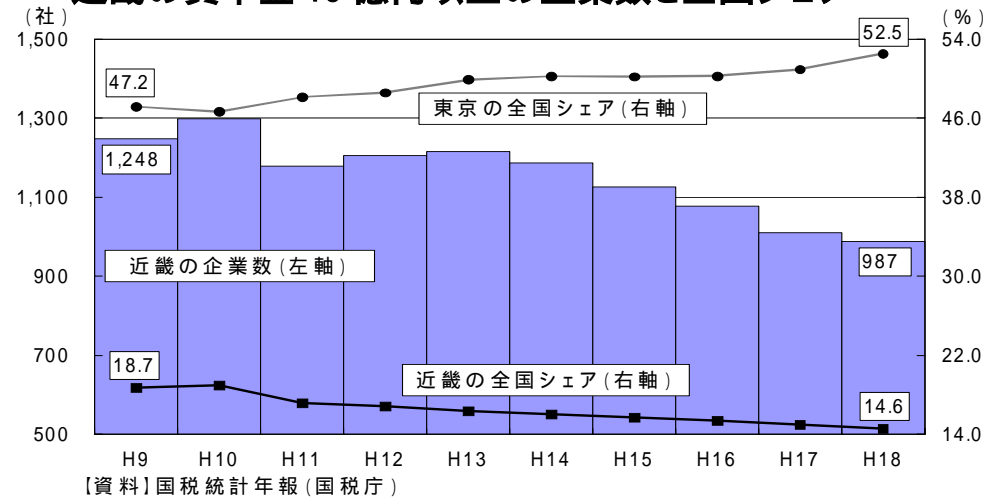
近畿の名目県内総生産額の全国シェア



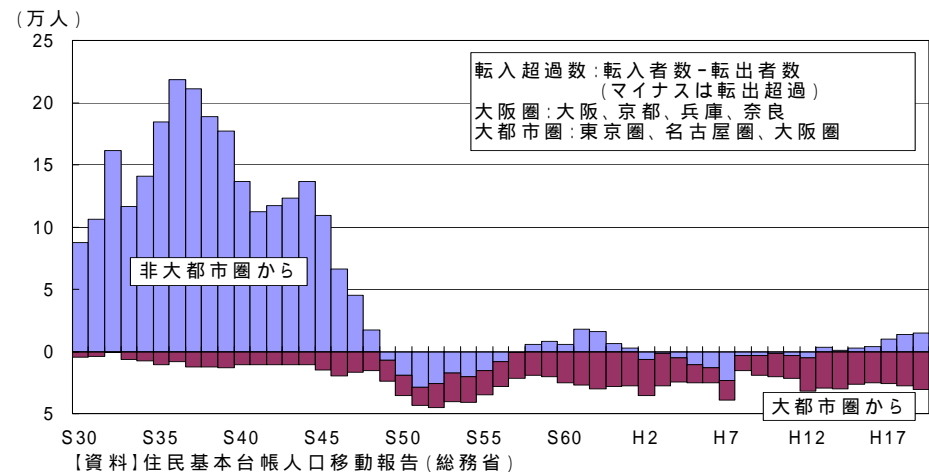
近畿、全国の製造品出荷額の構成比



近畿の資本金10億円以上の企業数と全国シェア



大阪圏の転入超過数



3.(1) 大阪湾周辺の大規模投資と波及効果

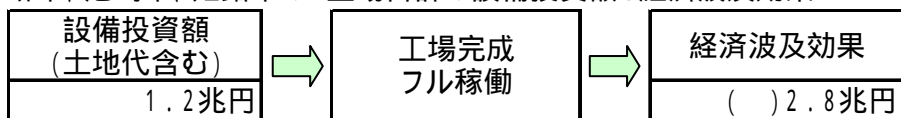
近畿では薄型テレビのディスプレイパネル、太陽電池などの大規模な設備投資が相次ぐ。世界的な集積地として注目されるとともに、さまざまな波及効果が期待されている。

薄型テレビディスプレイパネル

経済波及効果

生産面・雇用面・税収面などで地域社会に大きな波及効果

堺市、尼崎市、姫路市の3工場合計の設備投資額と経済波及効果



() 日本総合研究所関西経済研究センター試算

太陽電池

海外市場が急拡大 今後も大幅な成長を予測

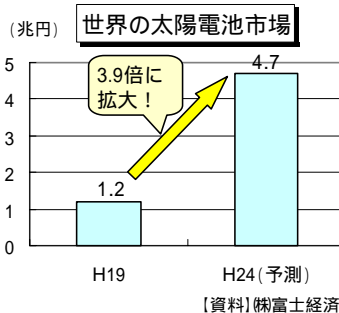
太陽電池は、欧州を中心に市場が急拡大

メーカー各社は積極的な設備投資を実施

材料となるシリコンウェハの受託加工企業も好調

地元中堅企業

- ・世界的シェアを確保
- ・技術力が国内外で高評価



リチウムイオン電池

住宅・自動車用の開発が進む

住宅用(大容量)・・・太陽光発電の蓄電池

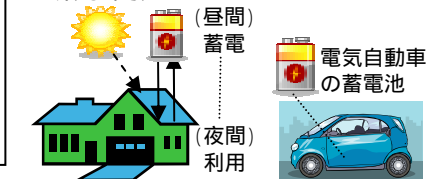
自動車用(大容量、省スペース、軽量)

業態の垣根を越えた企業間連携

< 現在の主な用途 >

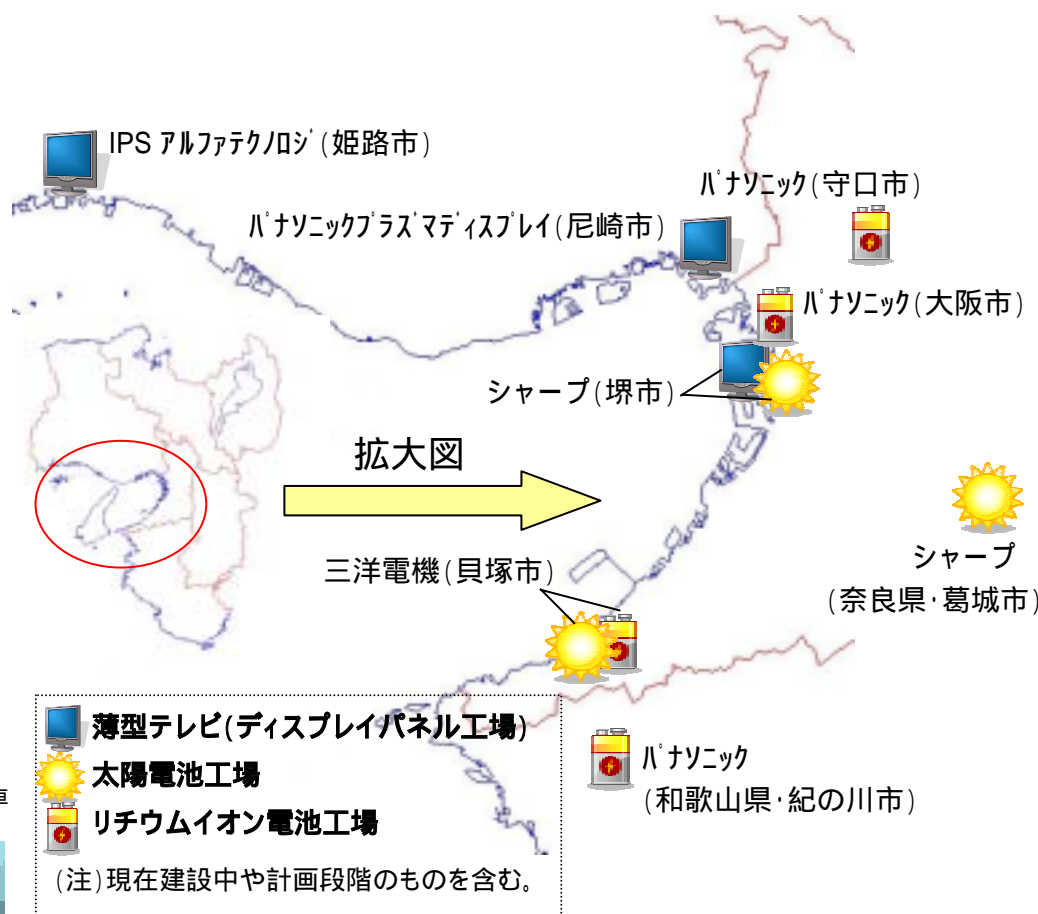


< 研究・開発 >



大阪湾周辺の薄型テレビと電池産業の主な企業立地の状況

世界有数の集積地！！

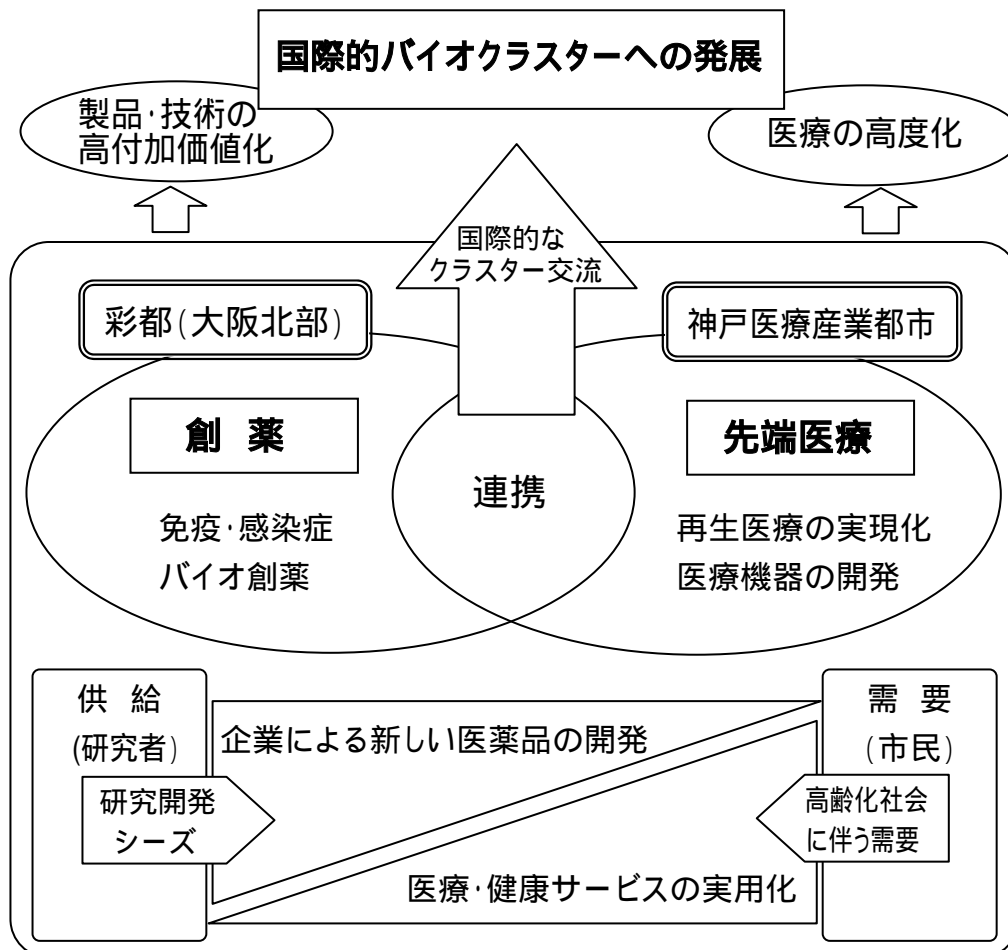


3.(2) バイオメディカルクラスター構想

産学官連携による「創薬」と「先端医療」の広域クラスター構想が進行。研究開発拠点としての集積が進む。初の上場会社も出現。



関西広域バイオメディカルクラスター構想



大阪府・神戸市の計画資料を参考に作成

大阪府と神戸市が主体となってH19年度にスタート^(注)

さいと
彩都の「創薬」、神戸の「先端医療」

・各地域の特色を活かし、医療技術の高度化と高付加価値化を目指す
研究開発拠点としての集積

・構造改革特区による外国人研究者の受入れ

・優秀な研究者や情報量を誘因に、企業や学術研究機関が集積

・研究開発成果（製品・技術）の産業化 全体的な波及が課題

H22年度末 次世代スーパーコンピュータ稼動(神戸)

・新薬開発、地球環境の解析など更なる進展の期待

< 進出企業の取組事例 > - 独自技術による創薬支援 -

A社 (神戸市)

オランダ系製薬大手の研究者が独立し、H15年4月設立

細胞間の情報伝達を担う酵素に着目した創薬基盤技術を開発

数十万の化合物の中から医薬として有効な化合物を見つけ出す技術
を有する

【成果】

H20年3月 ジャスダックNEO上場(医療産業都市創業では初)

H20年6月 国立がんセンターと新規抗ガン薬の共同研究を開始

(注)大阪府、神戸市ともに財団法人を設立し運営

3.(3) 中小企業の活性化

東大阪の中小企業が互いの技術力を結集し、人工衛星「まいど1号」を打ち上げへ。
モノづくり技術の集積を活かし、新たなビジネスチャンスにつなげる動き。

産学官連携

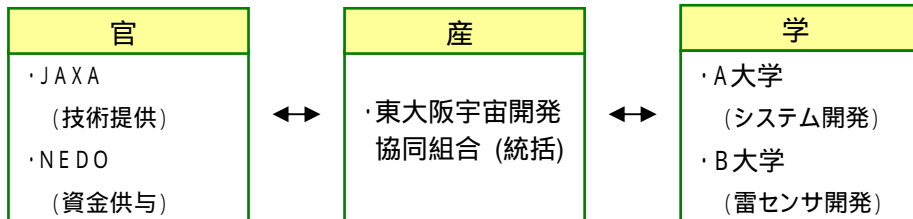
東大阪宇宙開発協同組合(SOHLA)(H14年12月設立)

*東大阪を中心とした関西の中小企業の「匠」たちが集結(組合員9社)

「東大阪の中小企業の技術力を結集して、人工衛星を打ち上げよう!」をスローガンに人工衛星「まいど1号」の開発をスタート。
産学官連携により技術と資金の両面を補完。



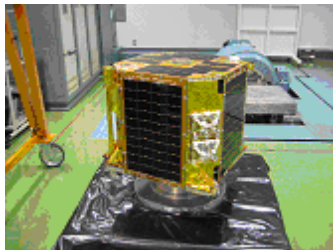
「産学官」の強みを生かして開発



H20年8月、「まいど1号」が完成。

H21年1~3月に打ち上げ予定の「H2A型ロケット」への搭載が決定。

現在、筑波のJAXA研究所にて最終試験中。



筑波に移送される前の「まいど1号」

「まいど1号」は、実験衛星として宇宙空間から雷観測の実証実験を行う予定。

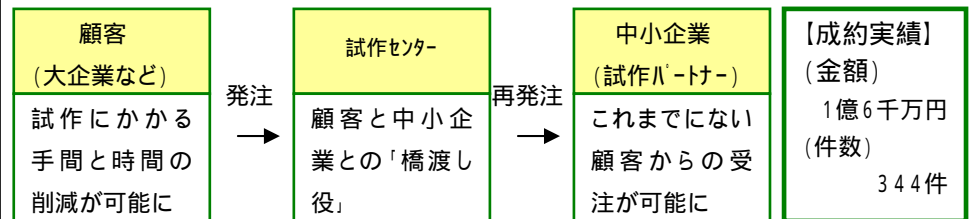
共同受注・共同開発

京都試作産業プラットフォーム(H18年7月設立)

*「地元企業27社出資による試作センター」、「京都試作産業推進会議(自治体、経済団体等)」、「試作パートナー企業(異業種約100社)」で構成。

地元中小企業に代わり、顧客からの「試作」に関するニーズを一括受注(ワンストップ化)。

顧客オーダーを最適な中小企業(試作パートナー)につなぐことで、「顧客」と「中小企業」の相互に利点のある関係を構築。



大企業とのマッチング

大阪湾岸地域・企業連携研究会

*5つの商工会議所(大阪、堺、尼崎、神戸、姫路)の連携の下に発足。

パネル産業の集積を地域経済、特に、中小企業の振興につなげる。

H20年7月を皮切りに、12月まで6回の開催を予定。

液晶パネルメーカーと大阪の中小企業とのビジネスマッチング商談会

液晶パネルに用いる材料やその加工にかかる独自技術をもつ企業を募集。

材料 : 微細(ナノ)、新規素材等 **技術** : 高精度、省エネ等

海外航空機メーカーと関西の中小企業との航空機関連市場参入支援セミナー

航空機メーカー幹部を招き、関西の中小企業が部品納入を目指し売り込み。

3.(4)外国人観光需要の取り込み

5つの世界文化遺産(*)をはじめ、多くの国宝や重要文化財が点在するとともに、多彩な都市型観光資源も併せ持つ。近畿全体の観光ポテンシャルを高めるため、広域連携による取り組みが進められている。

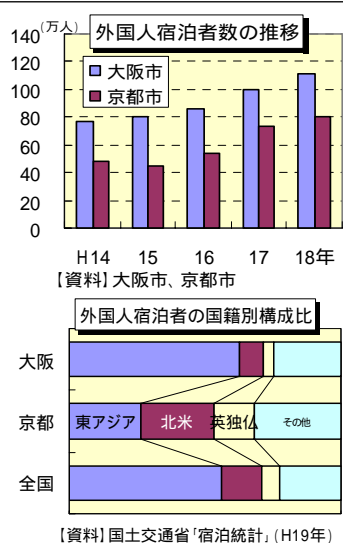
近畿観光の現状

来訪外国人の動向

- VJC等の効果もあり、外国人宿泊者数は増加。
- ・大阪は東アジア、京都は欧米からの訪問が多い。

広域での取り組み

- 関西国際観光推進センターの設立(H19年7月)
- ・東アジアを対象に、現地メディア等を活用したPR、現地関係先(旅行会社、行政機関等)への売込みや情報収集等を展開。
- 管内の府県知事が合同でトップセールス
- ・中国からの観光客誘致へ向けて10月に実施。



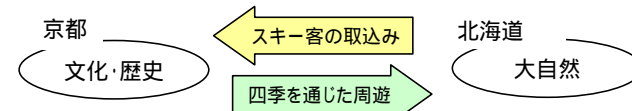
(*)法隆寺地域の仏教建造物、姫路城、古都奈良の文化財、古都京都の文化財、紀伊山地の霊場と参詣道

冬季の活性化 ~ 京都 ~

オフシーズンとなる冬季の観光客誘致に向けて、広域連携等に取り組む。

北海道との連携

- ・「北海道スキープロモーション協議会」に北海道以外で唯一参加。離れた異なる観光資源を互いに活かし、北海道のスキー客の取り込みを目指す。



冬季集中キャンペーン「Kyoto Winter Special」

- ・冬の京都イベントの情報発信や外国人宿泊客に対する優遇特典などを拡充。

【トピックス】 ~ 源氏物語千年紀キャンペーンが開催中 ~

- ・H21年3月までの期間中、各地において文化行事などを展開。

地域における特徴的な動き

ショッピング・グルメのまち ~ 大阪 ~

大阪の商店街や百貨店などの商業施設では、「ショッピング」を目的とした東アジアからの観光客で賑わっている。

銀聯カード取扱店の拡大

- ・増加する中国人旅行客の受け入れ態勢を強化。
- 「関西国際空港出国型ツアー」造成
- ・「関空」が東アジアから近いという利点を活かし、行政、観光協会、関空が連携し、海外の旅行関係者等へ企画・提案。

【トピックス】 ~ 「中之島線」が10月19日に開通 ~

- ・大阪の中心である「中之島」に新線(中之島~天満橋)が開通。文化観光の中心である「京都」へのアクセス向上により、広域での観光活性化が期待される。

霊場「高野山」のまち ~ 和歌山県高野町 ~

仏教の聖地として知られる「高野山」を擁し、「宗教環境都市」という指針を掲げる高野町は、近年、欧米を中心に外国人観光客が大幅に増加。

貴重な文化財、建造物、名所が数多く存在

- ・H16年世界遺産登録(「紀伊山地の霊場と参詣道」の一部)

温かく迎えることをモットーに

- ・宿坊への宿泊・修行や精進料理など、霊場高野山を体験。
- ・5ヶ国語に堪能なスイス人僧侶がキーパーソンとなり、外国人の感性による魅力作りや情報発信に一役。
- ・H19年4月、高野山がミシュランガイドブックにて紹介。

